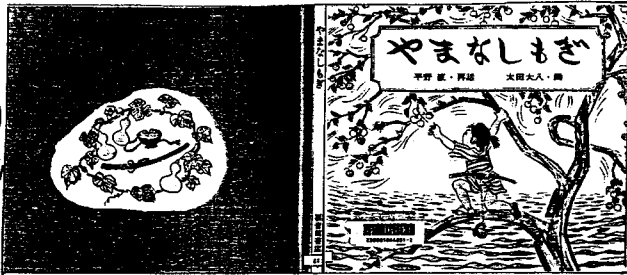


子どもたちといっしょに

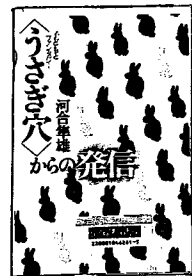
「やまなしもぎ」(福音館書店)

平野直・再話 大田大八画
 日本にほんの昔話も、大田大八さんの種類が、あって、読みごたえがあります。この物語も、古く

から、語り伝えられてきたもので、おかあさんのために「やまなし」をもちに行った兄弟の話です。よくにた話で「なら梨取り」があります。こちらは、父親のために、「なら梨」を取りに行く話です。どちらも東北地方の話で、昔話のパターンどおり、三度のくり返しがあり、お終いは、めでたしめでたしです。多くの昔話は、子どもの成長の物語です。お子さんには、解説を加えることなく、楽しく読んであげてください。「なら梨取り」は、「日本の昔話433のりからせん」(福音館書店)の中にあります。読みくらべてみてください)



第30回読書会 4月20日(日) 13:30~3:30ルム2



子どもエッセイ
 くさぎざいからの発信
 河合隼雄著(ガジナブ)
 臨床心理学者の著者は、無類の子どもの本大女子人間。あつという間に読めて、あつたが読んだ本について、たくさん、たくさんの言評論があり、おもしろいです。

お知らせ 4月1日から、平日(火・水・木・金)は、午後7時迄開館します。ご利用、お待ちしております。

4月から、3~4か月検診を受けられるあかちゃんに、絵本2冊と、ブックバッグをプレゼントします。「しろね・あかちゃん」をはじめであうほんのスタートです。あかちゃんの時から、貸出カードを作って図書館を利用しましょう。

4月の行事		ブックバス
2(水)	絵本のじかん 3:00	
5(土)	市販文学開校式 13:30 おはなし会 3:00	
9(水)	絵本のじかん 3:00	新飯田小 12:55~13:40 茨原小 14:10~15:30
10(木)		白南中 12:55~13:35 左津地C 14:00~14:40 左津地D 15:00~15:35
11(金)		白井中 13:00~14:00 白井小 14:30~15:15
12(土)	おはなしのつどい 10:00 おはなし会 3:00	大通地C 14:30~15:00 程岸農公 15:30~16:00
16(水)	絵本のじかん 3:00	程岸小 13:20~14:00 大通小 14:20~15:40
17(木)		白根北中 13:00~14:00 大盛小 14:30~15:30
18(金)		白根小 13:00~13:50 小石小 14:30~15:30
19(土)	市販文学北北読書会 10:00 おはなし会 3:00	新飯田農公 14:30~15:00 戸石公 15:30~16:00
23(水)	絵本のじかん 3:00	新飯田小 12:55~13:40 茨原小 14:10~15:30
24(木)		白南中 12:55~13:35 左津地C 14:00~14:40 左津地D 15:00~15:35
25(金)		白井中 13:00~14:00 白井小 14:30~15:15
26(土)	おはなしのつどい 10:00 おはなし会 3:00	大通地C 14:30~15:00 程岸農公 15:30~16:00

しろね図書館だより

No. 35

発行 白根市立図書館
 平成 15 年 4 月 1 日

石ばしる垂水の上のさ廠の萌え出づる春になりけるかも 志貴皇子
 冬は去った。さあ、野に出よう。石の上をはげしく「新編 折々のうた」(朝日新聞社)
 流れる滝のほとりに、さめらびも芽を出す季節になりました。4月は、様々な意味での成長の時です。心を新にして、幸せな産産をさすきあげましょう。

3月の来館者 --- 14,170人 (視察 20人)	リクエスト情報
貸出冊数 --- 14,629冊	1位・ハリ・ポッターと炎のゴブレット上(15) F(15)
予約件数 --- 256件	2位・ "
ブックバス利用者 --- 209人	3位・ 4と4尋の神隠し(14名)
ブックバス貸出冊数 --- 670冊	4位・ ダレンシヤンク(4名)
	5位・ ファース・プライオリティ(3名)
	アホマヌケなアメリカ白人(3名)

「しろね図書館」は、今年度はこのメンバーで運営します。どうぞよろしくお願いいたします。

7人のメンバーに ぎいてみました。 ①高校時代に 読んだ本は? ②好きな「ことわざ」 を、1つだけ教えて。	館長(司書) 葉村 節子 ①4ホー家の人々1~6 ②初心忘る可からず	副館長(専任係) 吉原 泰蔵 ①ハミングウェイ「老人と海」武器よさらば ②念には念を入れ	司書 由甲 華子 ①ライ表畑でつかまえて ②急がば回れ
司書 野沢 淳子 ①空色勾玉 ②残り物には福がある	司書 大野 寛子 ①哀しい予感 ②類は友をよぶ	司書 山本 崇裕 ①シャーロックホームズシリーズ ②棚からぼたもち	司書 中野 那穂里 ①異邦人 ②笑う門には福来る

SEのための創造型提案心得ノート
速効!図解ホームページ・ビルダー7
魂との対話
出島
日本の女性天皇
家紋で読み解く日本の歴史
博物学の巨人アンリ・ファブール
旅に夢みる
一度は見ておきたい名所の桜
日本の湯の街めぐり 全国編
沖縄の旅・アプチラガマと霧の境
貧困の克服
イラク
許されざる者
21世紀大予測
クルド人もうひとつの中東問題
起業のための税と法務
アメリカ経済史の新潮流
小さなトップ企業
バランスシートのことが面白いほどわかる本
論理的に考える力をつける本
初めて学ぶ簿記の完全独習
ぶどうの木
残り火のいのち在宅介護11年の記録
反抗期のシュタイナー教育
教師のちょっとした文書・手紙の書き方 新
教師のちょっとしたマナーと常識 新版
本当の学力をつける本
リトミック百科
おはなしのろうそく 24
おはなしのろうそく 24
基礎からわかる仏事のしきたり
お墓博士のお墓と葬儀のお金の話
エベレスト花の道
古木の桜はなにを見てきたか
はばかりながら
血液に乾杯
私の健康革命
血液・血管をきれいにする本
脳はいかにして神を見るか
名医が答える医療相談
お産の歴史
学問支配の医学
城の見方
ここまで変わった木材・木造建築
自動販売機の文化史
ワインの事典
バランスシート思考のすすめ!
副産物のABC
産地発たけのご料理
料理のわざを科学する
フライパンはエライ!
子どもの野菜ぎらいがなおる魔法のレシピ
豆腐屋さんの豆腐料理
シヤクナグ
そば竹やぶ名人の真髓
天ぷらみかわ名人の仕事
捨てるより儲ける!
天才アラーキー写真ノ時間
クラシック千夜一曲
新・ハネケンの音楽は愉快だ
有効期限の過ぎた亭主・賞味期限の切れた女
うまくなる!パドミントン
お茶のおけいこ 13
すぐ役立つ司会進行・あいさつのコツ
生きている江戸ことば
ほんとうの英会話がわかる
年下の男
賢門島 上 1
賢門島 下 3
天使の牙

石桁 正士|著
小泉 茜|著
ゲーリー ズーカフ|著
片桐 一男|著
荒木 敏夫|著
鈴木 亨|著
奥本 大三郎|著
吉永 小百合|著
庄子 利男|著
石原 昌家|著
アマルティア・セン|著
田中 宇|著
佐高 信|著
集英社新書編集部|編
川上 洋一|著
河本 一郎|編著
岡田 泰男|編著
日経ビジネス|編
池山 正一|著
北岡 俊明|著
橋本 義興|著
坂本 洋子|著
藤原 瑞美|著
ヘルマン ケブケ|著
飯田 総|著
飯田 総|著
陰山 英男|著
石丸 由理|著
東京子ども図書館|編
東京子ども図書館|編
ウイズ仏教文化研究会|編著
横田 陸|著
藤田 弘基|著
宗方 俊ゆき|著
浅利 佳一郎|著
足立 和子|著
足立 和子|著
阿部 博幸|著
アンドリュース ニューバーグ|著
朝日新聞科学医療部|編
杉立 義一|著
米山 公啓|著
佐藤 俊一|編
林 知行|著
鷺巣 力|著
大塚 謙一|著
角川 総一|著
大塚 あや子|著
並川 悦子|著
Peter Barham|著
松田 美智子|著
松田 伸子|著
山本 久仁佳|著
倉重 祐二|著
阿部 孝雄|著
早乙女 哲哉|著
荒木 経惟|著
宮城谷 昌光|著
羽田 健太郎|著
綾小路 きみまろ|著
小島 一夫|著
すびーち工房|著
林 文子|著
ロジャー パルバース|著
内館 牧子|著
内田 康夫|著
内田 康夫|著
大沢 在昌|著
日刊工業新聞社
毎日コミュニケーションズ
サンマーク出版
集英社
主婦と生活社
学習研究社
集英社
講談社
河出書房新社
JAF出版社
集英社
集英社
光文社
毎日新聞社
集英社
三省堂
慶応義塾大学出版会
日経BP社
中経出版
青春出版社
日本芸文社
幻冬舎
集英社
学陽書房
学陽書房
学陽書房
文藝春秋
ひかりのくに
東京子ども図書館
東京子ども図書館
ひかりのくに
光文社
平凡社
河出書房新社
集英社
日本花ヴェール健康学センター
日本花ヴェール健康学センター
法研
PHPエディターズ・グループ
朝日新聞社出版局
集英社
集英社
小学館
丸善
集英社
柴田書店
PHP研究所
雄鶏社
創森社
丸善
講談社
PHP研究所
創森社
日本放送出版協会
プレジデント社
プレジデント社
エクスマレッジ
集英社
集英社
プレジデント社
PHP研究所
西東社
世界文化社
法研
集英社
新潮社
角川書店
文藝春秋
文藝春秋
小学館

～図書館員がおすすめするこの一冊～

アロワ・カリジェの絵本

- 『ウルスリのすず』『フルリーナと山の鳥』『大雪』『アルプスのきょうだい』
ゼリーナ・ヘンツ作 アロワ・カリジェ 絵
- 『マウルスと三びきのヤギ』『ナシの木とシラカバとメギの木』『マウルスとマドライナ』
アロワ・カリジェ作/絵

カリジェの絵にはスイスの美しさ、山の自然、山に住む人々、動物たち、暮らしそのものが生き生きと描かれています。カリジェはスイスで育ち、アルプスでの子ども時代を世の中のすべての子どもたちに、特に都会で暮らす子供たちに少しでも感じてもらいたいという想いが込められています。



『ウルスリのすず』・・・アルプスの山奥に小さな元気な男の子ウルスリが住んでいます。明日は楽しい「鈴まつり」。ウルスリは大きな鈴を手に入れて今年こそ一番先頭を歩こうと大はりきり。しかし、大きな鈴はもらえません。そこで、ウルスリはある事を思い出します・・・。

『マウルスとマドライナ』・・・おはなしはマウルスに届いた一つの手紙から始まります。マウルスはいとこのマドライナに会いに、細い岩の間の道を通って、雪原を越えていきます。スイスという場所での暮らしが美しく描かれていると思います。



厳しい山道や岩はだ、雪原で迷わないためのハシバミの枝一本一本にゆわえられた色さまざまな布。
『フルリーナと山の鳥』・・・ここでもスイスの自然がとても美しく描かれています。個人的には好きな場面が多いので私のお気に入りの一冊です。空気の澄んだスイスの夜空に輝く星が頭に、まぶたに広がるはずです。色とりどりの美しい鳥など生活する道具一つとっても色彩が美しくかわいらしくて心が弾んでしまいますよ。

[司書 大野恵子]

第二十九回読書会 平成十五年三月十六日(日)
「クローディアの秘密」 E.L. カニグズバーク 作 松永 ふみ子 訳

○月×日(△) ああ、単純な毎日・・・。なにか、こ
う、ばつとした出来事は無いのか?
○月△日(×) 今日は雨。することも無いので久しぶ
りに図書館へ行って来た。今の気分分
にあ本はつと探していたら1冊見
つけた。「クローディアの秘密」。一体ど
んな秘密だ?
○月○日(□) 昔「みんなのうた」で聞いた『メトロ
ポリタンミュージアム』ってこの本の
歌だったのか。へえ。
○月□日(○) 読み終わった!久しぶりにわくわくと
きどきの時間を過ごした。楽しかつ
た!
○月■日(△) 本を返しにいったら読書会の案内が。
今回の課題図書はなんと「クローディ
アの秘密」。行かなくちゃ。
三月十六日(日) 午後1時半に会場の白根学習館に到
着。私他に5人の参加者がいて、皆
この本を愛した様子。計画をきちん
と立てて家出するところや最後の秘
密の件が他の人も楽しかったって
いた。何度も読んでたというつわもの
も!すごい。確かに何度読んでても楽し
い本だとは思った。今日はお天気も良
かったし、いい一日だった。読書会つ
てどんなこととするのが不安だったけ
ど行って良かった。次々回は同じ作
者の「ジョコング夫人の肖像」。この本
は読んでたことあるぞ。モナリザの微笑
みに隠された秘密についての本だつ
た。また行くのかな?おっとその前に
もう一度読んでおかないか。
○月●日(△) また、単調な一日。明日は図書館行っ
てまた本を探してこよう。

